

**2019年度  
の取り組み**

「信州上田学」の初年次講座がスタートしました。上田を地域探求の学習フィールドとし、学部の枠を超えて地域の課題を発見し、地域課題と向き合いました。多様な地域資源(自然・歴史・文化・産業)、人的資源に触れ、学生それぞれが主体となり「地域の課題とは何か」を自ら問うことのできる能力を育成することがねらいです。学生は関心のある探求課題を選び、課題解決の方向性を持って地域探求のファーストチャレンジをしました。

**醸造文化とワイン\***

シャトー・メルシャン 梶子ワイナリー、稲倉の棚田を訪れ、「菌・発酵・醸造とは」「千曲川ワインバレー構想とワイン観光」「米の酒造りと信州の地酒」を学びました。グループワークで地域資源(醸造文化やワイン)を用いた地域活性化プランを導きました。



担当教員

- \*1 古田睦美 (環境ツーリズム学部)
- \*2 前川道博 (企業情報学部)
- \*3 高橋大輔 (環境ツーリズム学部)
- \*4 石川義宗 (企業情報学部)

**「信州上田学」  
地域協働の学びのモデル**



信州上田学  
ホームページ



**上田探検隊~上田ってどんなまち?\***  
学生がまちあるきし、上田がどんなまちかを探りました。まちに触れる。古い地図と今を見比べる。まちの姿をデータで持ち帰る。「うえだマップ」に投稿しネットに公開。学生一人一人が自分の目線で捉えたまちの姿を可視化し、上田の魅力、課題を伝え合いました。



**デザインから見る上田の歴史\*\***

大正・昭和の上田で特色のあった農民美術運動、洋風建築にフォーカスし、上田の歴史を学びました。農民美術は上田市立美術館学芸員、農民美術作家から、洋風建築は建築家から話を聴き見聞を深めました。そのまとめとしてグループごとに上田の年表を作成しました。



**千曲川の水産資源・観光資源\*\***  
千曲川の水産資源や観光資源の活用のための課題を探り、解決策を考えました。千曲川における水産資源の現状や管理の仕方、人々の営みの歴史や観光資源としての可能性について専門家や地元の人々に学び、学生の視点から地域活性化プランを出し合いました。

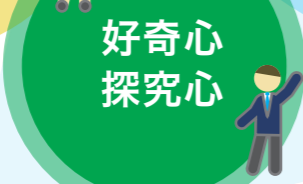


**スタートアップ系**

講座「信州学」

講座「信州上田学 A・B」\*

課題発見・探求ゼミ I・II



地域課題解決型インターンシップ

キャリア教育プログラム

実習プログラム (社会福祉学部)



横断的カリキュラム

学生をサポート

心理・教育・社会福祉  
環境・観光・地域  
経営・情報・デザイン

地域連携プロジェクト (受託研究)  
(受託事業)

プロジェクト研究 (企業情報学部)

専門ゼミナール (社会福祉学部)  
(環境ツーリズム学部)

卒業研究

キャリア系

地域とシェア  
デジタルコモンズ\*\*

地域連携プロジェクト (受託研究)  
(受託事業)

プロジェクト研究 (企業情報学部)

専門ゼミナール (社会福祉学部)  
(環境ツーリズム学部)

卒業研究

プロジェクト系

市民・団体  
企業・行政

地域とコラボ

上田市  
上田商工会議所  
上田信用金庫  
メルシャン株式会社  
塩田まちづくり協議会  
稲倉の棚田保全委員会など



**地域づくり**



**地域産業**



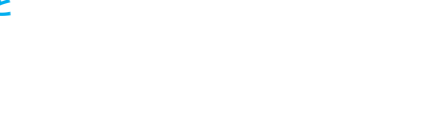
**上田市**



**地域活性化**



**地域とコラボ**



好奇心  
探究心

\*2020年度2科目に拡充

\*\*「デジタルコモンズ」とは地域の情報(文書・動画・画像など)をインターネットで蓄積したりやりとりするメディア環境です。

**上田  
メソッドが  
描く未来**  
地域協働の学びをと  
した地域課題解決の  
方法論である上田メ  
ソッドは、次のよう  
な特徴をそなえています。

- ①地域がまるごとキャンパスとなり、学生の主体的・自発的な興味関心に基づき、学びのテーマを創造する。
- ②地域現場での学生と地域の多様な主体との協働活動をとおして、生きた社会を学ぶ。
- ③地域の課題解決に求められる知識や技術を学生が主体的・複合的に獲得し、アイデアを創発する。

信州上田学では、こうしたメソッドを学生が修得し、地域社会に飛び立つことを支援します。これにより、若い力が躍動し、市民の力と融合する活気ある地域づくりと、バリアフリー社会の実現を目指します。

長野大学「信州上田学」の取り組みは、本学の「長野大学 VISION」や「中期計画」に掲げられています。上田市政においても、「上田の魅力を知り、ともに地域を築く体験を通して若者定着へと繋げる信州上田学の推進」が位置づけられました。これにより、本学は上田市の公立大学として、学園都市上田の中核を担い、地域の多様な主体との連携をとおして、地域貢献していくことを目指しています。

本学では、信州上田学を推進する地域のパートナー（地域団体、企業、人材）を求めています。長野大学地域づくり総合センターは、その連携をコーディネートします。

公立大学法人  
**長野大学** 地域づくり総合センター

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1  
(9号館1階附属図書館内)

Tel : 0268-39-0007

<http://www.nagano.ac.jp/>

E-mail : [renkei@nagano.ac.jp](mailto:renkei@nagano.ac.jp)



# 信州上田学

## 上田に学び、上田メソッドをつくる

地域の方々によって創設された長野大学は地域貢献の先駆的の大学として地域学の研究と教育に取り組んできました。2017(平成29)年度から上田市の公立大学となり、より一層地域貢献できる学びの体系として初年次から4年次まで地域課題の解決に取り組む地域協働型教育を推進しています。

21世紀社会は、市民、企業や行政を含む組織等が主体で活動・協働しつつ、学生世代を含む次世代と一緒に創り出していくものです。長野大学は学生が“地域で”、あるいは“地域と”実践的に地域課題と向き合う学び、地域の皆様と協働する学びを実践します。全国どこの地域においても求められる地域課題解決の方法論「上田メソッド」をつくり、上田から全国に広げていくことを目指します。